

在留邦人の皆様へ

平成28年5月12日

【感染症情報】 ミシガン州における水痘（水ぼうそう）の流行について

ミシガン州保健省は11日、州内での水痘（chickenpox）の流行及び予防接種の奨励を発表しました。

同省によると、本年4月末現在、州内で239件（前年同期比57%増）の発症が確認されており、発症者の大多数は予防接種を受けていない児童とのことです。

同省は、感染しやすい場所として、学校、デイケアセンターなど多数が集まる場所を挙げるとともに、可能な限り予防接種を行い、感染のおそれがある場合には早期に受診するよう求めています。

水痘は、主に子供が感染する病気で、健康な子供であれば軽症で済むことがほとんどですが、免疫機能が低下している場合には、症状が悪化することがあります。

また、大人になってから感染した場合、脳炎や肺炎の合併症が生じるなど重症化する場合があると言われております。

在留邦人の皆様におかれましては、可能な限り予防接種を行うとともに、下記兆候等が認められる際には、早期に受診するようお願いいたします。

【発疹】

- 発現期：赤くて小さい発疹が、体の中心あたりに現れます。それから半日程度で、頭、顔、腕、足などの全身に広がります。
- 1～3日程度：強いかゆみを伴う水疱に変わります。最初の発疹が現れてから3～4日後には新しい発疹が次々と現れて、水疱に変わります。

【発熱】

- 発疹が現れると、同時に発熱します。10歳程度までは、熱もそれほど高くなく、37～38度が3～5日間続きます。発疹の数が多いほど熱は高くなる傾向があり、重症になると39度前後の熱が1週間近く続く場合があります。

【関連リンク】

http://www.mlive.com/news/index.ssf/2016/05/michigan_chickenpox_cases_jump.html